

研究報告

十日町市松之山におけるマツヘリカメムシの追加記録

大平 創

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ

(2023年12月26日受付; 2024年3月1日受理)

Additional Records of *Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910 in Matsunoyama, Tokamachi City

Hajime OHIRA

Echigo-Matsunoyama Museum of Natural Science 'Kyororo'

はじめに

マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910 (カメムシ目: ヘリカメムシ科) はマツ科植物の害虫となる国外外来種である (石川・菊原 2009; 石川ら 2012)。十日町市におけるマツヘリカメムシは大平・加藤 (2023) で初めて報告された。その2022年時には1個体が得られたのみであったが、2023年にも追加でマツヘリカメムシが採集されたため、ここに記録として報告する。

記録

追加採集されたマツヘリカメムシも、大平・加藤 (2023) と同様に、十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロの館内 (十日町市松之山) で採集された。それぞれ別日に1個体ずつ得られ、すべての個体は酢酸エチルで固定し、乾燥標本とした。標本はキョロロで保管している (図1)。

追加採集された個体も昨年と同様に越冬のために館内に侵入したものと思われるが、昨年よりも採集された個体数は増加している。生息密度が増大しているとまでは言えないが、少なくとも周囲に定着したことを示唆すると思われる。現状では周囲のマツ科植物に対して目立った影響は出ていないが、今後もモニタリングを継続していく必要があるだろう。

<標本データ>

マツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910

新潟県十日町市松之山松口 [十日町市立里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロ館内] (37.099 713°N, 138.617295°E, ca. 310 m alt.) : 1 ex, 2023/10/19; 1 ex, 2023/11/5; 1 ex, 2023/11/9, 大平創.

引用文献

石川忠・菊原勇作 (2009) 北米産ヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann の日本からの記録. *昆虫 (ニューシリーズ)* 12(3): 115-116.

石川忠・高井幹夫・安永智秀 (編) (2012) 日本原色カメムシ図鑑 第3巻. 株式会社全国農村教育

協会. 東京.

大平創・加藤大智 (2023) 新潟県十日町市におけるマツヘリカメムシの初記録. 「森の学校」キョ
ロロ研究紀要 4: rk202305.



図1. 追加採集されたマツヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910 (乾燥標本)